

平成30年度 第2回
奈良市社会教育委員会議
会議録

平成31年 2月20日会議

平成30年度 第2回奈良市社会教育委員会議 会議録

開催日時	平成31年 2月20日(水) 午後2時00分から午後3時40分まで		
開催場所	はぐくみセンター8階 中講座室8-2		
出席者	委員	井上委員、上田委員、岡田 _和 委員、岡田 _龍 委員、奥田委員、加藤委員、川田委員、川野委員、艸香委員、竹内委員、村上委員 【計11人出席】 (岡本委員、小北委員、坂田委員、中村委員、八木委員は欠席)	
	事務局	教育長、学校教育部長、教育総務部次長、生涯学習課長、生涯学習課課長補佐、生涯学習財団事務局長	
開催形態	公開(傍聴人 1人)	担当課	教育総務部 生涯学習課
議題 又は案件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各大会の参加報告について <ol style="list-style-type: none"> ① 平成30年度人権シンポジウム ② 第30回奈良県社会教育研究大会 ③ 平成30年度近畿地区社会教育研究大会(和歌山大会) ④ 第60回全国社会教育研究大会(青森大会) ⑤ 平成30年度奈良県社会教育学校 2. 奈良市社会教育推進計画に基づく事業の評価・点検に関する活動報告 3. その他 		
決定又は 取り纏め事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各大会の参加者より報告を受け、意見交換を行った。 2. 奈良市社会教育推進計画 事業の評価・点検に関する活動をいただいた委員から報告を受け、意見交換を行った。 3. 来年度も引き続き、奈良市社会教育推進計画 事業評価シートの点検・評価を進めていくため、社会教育委員に協力を依頼することについて了承を得た。 		

議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

1. 各大会の参加報告について

- ・各参加者から、各大会について参加報告書を基に説明があった（資料1～4）

【委員からの意見等】

- ・人権シンポジウムに関してお聞きしたい。今、子どもの居場所作りが課題になっていて、私の地域でも様々な取組を行っている。その中で実際に本当に支援が必要な子どもたちへの取組や、何が必要とされているのか、その中で社会教育委員として、地域としてどのような働きかけをしていけばよいのか等、具体的な話があがっていたら内容を教えていただきたい。
→今回は、3名のシンポジストによる意見・交換等が主で、各地域の取組に対する交流はなかった
- ・社会教育委員として何か始めていくとした時に、まずは何か一つテーマを絞って、具体的な取組を進めるという方法が良いのではないかと考える。

2. 奈良市社会教育推進計画に基づく事業の評価・点検に関する活動報告

- ・協力していただいた7名（オブザーバー2名含む）の中で、リーダーとして活動いただいた川野委員から資料を基に活動報告があった。
- ・奈良市社会教育推進計画（以後、社会教育計画）に基づいた各事業について、平成29年度の成果を各課が記入した評価シートを基に、第1回社会教育委員会議で各課担当者との質疑応答を行った。
- ・意見等をまとめた中で質問も多く出されたため、質問とそれに対する各課の回答をとりまとめた資料は、12月に社会教育委員の皆様へ別途配布した。
- ・各社会教育委員から寄せられた意見やアドバイス等を取りまとめた（資料5）。この資料については、平成29年度社会教育委員の意見として、各課にフィードバックする。
- ・社会教育計画に基づいて施策が作られていることに立ち返り、それがどれだけ進んでいるのかという評価項目を作成したいという目的で資料6を作成した。
- ・縦軸は社会教育計画の目標に基づき、「まなぶ・つなげる・ささえる」という三つの観点でのどのように取組をすすめているか、社会教育計画に既にかかれている内容の中で評価項目となるキーワードを抽出している。これで何を達成すべきか、何を目指して進めるべきかがわかる。横軸は各事業の一覧を列記している。これは、どの事業が社会教育計画に基づく施策であるのかがわかるものになっている。社会教育計画を一つの表として見える化し、各事業と目標を照らし合わせて捉えることができる一覧表になっている。

- ・●は主な取組に該当している事業、○は関連する事業であることを意味している。各課が社会教育計画の中で、社会教育という立場、視点の中でどういったことを期待されているのかを理解してもらうことができる。
- ・この資料の今後の活用については、次年度にこれに基づいて評価してもらうことを念頭に、各課に資料6について周知をする予定である。
- ・市民側からすると、社会教育計画に基づいた市の事業を把握することができる。
- ・奈良市の事業全てを対象にすると、もっと横軸の事業が増えていくと思われる。各課が市民に向けた事業の中で、これも該当するのでは。というような考え方になっていけば、社会教育が推進されていくきっかけにもなるということも期待している。

【委員からの意見等】

- ・作成いただいた資料について、具体的な次年度からの活用方法を教えて欲しい。奈良市として事業評価は様々なところでされているが、単に事業評価でなく、社会教育の視点から評価をするということの認識で良いか。
→その通りである。例えば「子育てスポット事業」を見てみると、以前の評価シートだと、社会教育計画の視点での成果ではなく、子育て支援という視点で成果を書くようなシートになっていた。来年度からは、「つなげる 学びを通したつながりの推進」の中の「家庭教育支援の推進」という視点からの評価をしてもらうということになる。その内容を受け、社会教育委員の皆様には、奈良市の社会教育の強みや弱みを見出していただくようなことを目標にしていきたい。

<事務局から資料7、資料8の説明>

- ・今年度、社会教育計画を策定してから初めての事業評価・点検を行うということで、7名の委員の方々にはご協力もいただき、御礼申し上げます。資料6を活用し、事業の評価・点検を行うために、年度初めにお示しした事業評価シートの見直しも必要だということで様々な意見も頂戴し、事業評価シート(案)(資料7)を作成した。
- ・資料7は、社会教育計画にある施策ごとに、奈良市の社会教育の推進状況を評価していただく様式となっている。来年度(平成31年度)はこのシートを使用し、平成30年度の事業評価点検をしていきたいと考えている。また、資料6と資料7については、各事業の所管課へも共有を図るという意味もあり、様式の形式等についての意見の聞き取りを行った。各事業における社会教育推進計画の位置づけや、各事業が社会教育の視点でどのようなことを期待されているのかを確認し、各課が理解を深めたところである。
- ・来年度も引き続き評価・点検のため、協力していただきたいと考えている。

【委員からの意見等】

- ・以前の評価シートを確認していた時、別のシートでも各事業の評価が同じ内容で書かれていたことが指摘されていたが、それについては解消されたのか。
→以前の評価シートが同じ内容で書かれた原因は、それぞれの観点で成果を書いて欲しかったが、その意図が各課に伝わっていなかったことによる。今回はそれぞれ

の視点での評価項目を明示しており、その視点から成果等を書くような様式になっているため、同じ内容で書かれないと予想している。

→評価項目 No は通し番号にした方が良いと考えている。

- ・例えば、3 ささえる-生涯学習の拠点づくり 施策3-1 の評価シートで評価項目 05、11、17 が同じ内容になっている。また、内容「耐震・改修等の施設整備を行っている」についても、社会教育という観点ではどうかと感ずるため、内容を精査してもらい検討も必要かと考える。

→ご指摘のとおりである。現段階では、社会教育計画の内容をそのまま表記しているため、質的の違うものも列記されているが、今後は評価項目として適切な内容だけを表記する等の工夫も検討していきたい。

- ・近畿地区社会教育研究大会に参加して他地域の取組を知る機会があり、学校の図書館を地域の方が協力して活性化しているという紹介があった。素晴らしい取組を参考にしながら、この分布表にどのように当てはめていけばいいのかわからないが、奈良市でも何かできることはないかと思っている。

→この資料を活用しながら進める中で、いろいろとご意見をいただき、改善もしていきたいと思っている。今回いただいたような場合は、3 ささえるの中の「多様化する情報・変化する住民ニーズに対応する」とか、「貸し出し冊数増加のための工夫を行う」「若い世代の利用が増加する」ことを目的として学校の図書館を利用して活用していく。というような表現をしていくことになると思う。そのような個々の表現等を見ていきながら、縦軸の評価項目の見直しを図り、社会教育計画の修正も図っていく必要があると考えている。

- ・来年度、平成30年度事業の取組内容を各課に記入してもらい、資料7の右欄にある「社会教育委員による意見等」にまとめた意見が各課に返っていくのだが、その時点ではもう2020年度の予算は組まれた後である。予算編成に反映してもらうまでに意見を返すことを考えると9月までに評価・意見をまとめないといけないため、スケジュールとしては難しい。

<来年度も、奈良市社会教育推進計画事業評価シートの点検・評価の体制を構築していくため、社会教育委員に協力を依頼することについて承認された>

- ・協力いただくメンバーについて、事務局として何名を予定されているか？
→オブザーバーも含め、6名を予定している。
- ・(会議長より) リーダーとして、引き続き川野委員に入っていただきたい。
- ・その他、協力いただくメンバーとして、川田委員が参加希望された。(会議後、竹内委員が参加希望された。)
- ・その他のメンバーについては事務局から選定しお願いをする。

3. その他

- ・奈良市社会教育推進計画 事業評価の流れ(平成30年度)について【資料8】説明した。
- ・奈良市社会教育推進計画 事業評価の流れ(案)(平成31年度)について【資料9】説明した。
- ・次回の平成31年度第1回社会教育委員会議では、各所管課が平成30年度事業について自己評価したシート(資料7)を基に、所管課へ直接質疑応答をしてもらえよう準備をする予定である。また、評価・点検に関する活動(2回を予定)として、平成30年度の事業実績に対する評価の総括を行っていただくとともに、点検・評価についての改善点などのご意見を頂戴したい。

資 料

- 【資料1】平成30年度人権シンポジウム
- 【資料2】第30回奈良県社会教育研究大会
- 【資料3】平成30年度近畿地区社会教育研究大会(和歌山大会)
- 【資料4】第60回全国社会教育研究大会(青森大会)
- 【資料5】奈良市社会教育推進計画に基づく平成29年度事業に係る委員意見
- 【資料6】社会教育推進計画に基づいた評価項目分布表
- 【資料7】奈良市社会教育推進計画 事業評価シート(案)
- 【資料8】奈良市社会教育推進計画 事業評価の流れ(平成30年度)
- 【資料9】奈良市社会教育推進計画 事業評価の流れ(案)(平成31年度)